

特定非営利活動法人救助犬訓練士協会

平成 25 年度米子・呉方面出動訓練の実施報告

平成 25 年 10 月 6 日(日)~10 月 10 日(木)



平成 25 年度米子・呉方面出動訓練の実施報告

1 期 間

平成 25 年 10 月 6 日(日)～10 月 10 日(木)

2 訓練のねらい

- (1) 災害出動時の派遣チーム及び救助犬の移動、宿泊（露営）等について演練し、検証する。
- (2) 海上自衛隊救助犬(警備犬)との合同訓練を通じ相互理解及び練度の向上を図る。
- (3) IRO 主催救助犬出動認定試験 (IRO-MRT) の事前訓練を行い、練度の向上を図るとともに、準備状況を確認する。
- (4) 山陰地方における救助犬の訓練展示等により、救助犬に対する啓蒙・理解の増進拡大を図る。

2 訓練項目

- (1) 車両 2 台（借り上げマイクロバス・犬舎車）による人員、犬、器材の輸送要領
- (2) IRO-MRT 模擬訓練（概要説明、ロープ作業、拠点設営、夜間行進・夜間搜索）
- (3) 瓦礫搜索（夜間を含む）
- (4) 救助犬訓練法及び警備犬に対するワンポイント・レッスン（訓練指導）
- (5) 救助犬訓練展示

3 参加者

RDТА 理事長	村瀬英博（救助犬 1 頭）
同訓練担当	大島かおり(救助犬 2 頭)
同海外渉外担当	島津芳明
同国内渉外担当	山田道雄（救助犬 1 頭）
同訓練士	溝部秀子（救助犬 1 頭）
同訓練士	村瀬裕太（救助犬 1 頭）
同訓練士	村山健太（救助犬 1 頭）
同会員	森田康博（救助犬 1 頭）

4 行動の概要

10 月 6 日(日)	18 : 10	RDТА 事務所(藤沢) 発、夜間車両移動訓練
7 日(月)	05 : 40	森田康博氏宅（鳥取県米子市淀江町）着
	09 : 00	救助犬訓練展示開始（淀江町宇田川公民館グラウンド）
	10 : 00	同終了、触れ合いタイム開始

- 10 : 30 触れ合いタイム終了
- 10 : 30 - 12 : 30 休憩・昼食（森田邸）
- 12 : 35 森田邸発、車両移動訓練
- 16 : 15 海上自衛隊呉造修補給所貯油所（広島県呉市吉浦町）着
犬、器材の収容、訓練準備等
- 19 : 00 - 21 : 00 訓練参加者の懇親会
- 8日(火) 08 : 40 - 08 : 50 警備犬慰霊碑参拝
- 09 : 00 - 17 : 00 実技訓練
- ・服従・熟練作業訓練法
 - ・アラートボックスを使用した訓練法
 - ・瓦礫搜索訓練法
 - ・警備・救助両任務の救助犬の展示
 - ・警備犬に対するワンポイント・レッスン
- 9日(水) 09 : 00 - 12 : 00 座学
- ・救助犬の告知要領
 - ・アラートボックスを使用した訓練法
 - ・IRO-MRT の概要
 - ・ロープ作業（山岳登攀）
- 12 : 45 - 15 : 00 実技
- ・服従・熟練訓練法
 - ・瓦礫搜索訓練展示
- 15 : 10 - 15 : 15 訓練終了式、写真撮影
- 15 : 15 - 16 : 30 撤収作業、出発準備
- 16 : 35 呉発、夜間車両移動訓練
- 10日(木) 06 : 00 RDTA 事務所(藤沢) 着

5 訓練の成果

(1) 災害出動・陸路移動要領

今回は救助犬頭数が多いため借り上げマイクロバス1台の他、私有車両1台を犬舎専用車として使用し人員8名、救助犬8頭、器材を搭載し移動訓練を行ったが、積載、運航上特に問題はなかった。

(2) IRO-MRT 事前訓練

台風24号の接近のため8日に予定していたMRT要員5名に対する夜間訓練(IRO-MRT事前訓練)を取りやめ、9日IRO-MRTの概要及びロープ作業の座学を参加者全員に実施した。その結果参加者総員が出動認定犬試験について理解し、以後の訓練目標を認識し得

たものと思われる。

(3) 救助犬、警備犬との合同訓練

欧州の先進的救助犬訓練方法を紹介し、自衛隊側救助犬の練度向上に資するとともに、当協会としては吉浦貯油所の本格的な瓦礫搜索場での救助犬搜索を初めて体験するハンドラー・犬には貴重な経験となった。

また、海自側警備犬に対してもワンポイント・レッスン方式で訓練指導を実施することにより効果的な練度向上に寄与出来た。

(4) 救助犬の啓蒙・広報

昨年に引き続き鳥取県米子市において救助犬の説明、展示等のデモンストレーションを実施したが、消防、地元住民の救助犬に対する関心も高く、熱心な見学者が多かった。

また、マスコミ3社の取材があり、昨年同様NHK中国地方TVニュースで「3.11 出動の救助犬が訓練を披露」と報道される等、災害救助犬の啓蒙・広報に成果があった。

5 所 見

- (1) 今年度の本訓練は海上自衛隊呉造修補給所貯油所との合同訓練を兼ね、海上・航空自衛隊警備犬の集合訓練という位置づけであったため、両自衛隊から人員〇〇名、警備犬〇〇頭と多数の参加者が得られた。

台風24号の影響により一部訓練の変更を余儀なくされたが、訓練は救助犬訓練の基礎的事項に焦点を当て実施された。内容は民間NPOの救助犬に関するノウハウを公的機関に伝えるという当協会の活動方針に合致するものであり、官民の目的を共有する者相互に良い刺激となり、十分な成果が得られたものと思われる。

最近自衛隊をはじめ各方面からの訓練指導要望が多いことから、今回のような1か所での集合訓練は当協会の移動訓練も兼ね効率的なので、今後とも年1回程度計画されることが望ましい。

- (2) 今回は車両2台（借り上げ1、個人所有1）で特に問題なく移動出来たが、実際の災害を考慮した場合、東日本大震災時のように車の借り上げや燃料の調達が困難な場合もあるので、基本的には協会として専用の出動用車両（初動時少なくとも1台）を整備しておく必要がある。
- (3) 今回中止した夜間訓練（IRO-MRT）については、11月の試験までに別途内容を充実したものを計画実施する予定である。

平成 25 年度「米子・呉方面出動訓練」写真集



写真 1：米子市淀江町宇田川公民館グラウンドにおける救助犬訓練展示風景（その 1）



写真 2：米子市淀江町宇田川公民館グランドにおける救助犬訓練展示風景（その 2）



写真 3：米子市淀江町宇田川公民館グランドにおける救助犬訓練展示風景（その 3）



写真 4：救助犬訓練展示－保育園児 55 名が見学



写真 5 : 海自呉基地 (吉浦) での合同訓練一訓練開始式



写真 6 : 海自呉基地 (吉浦) での合同訓練一座学 (その 1)



写真 7 : 海自呉基地 (吉浦) での合同訓練一座学 (その 2)



写真 8 : 海自呉基地 (吉浦) での合同訓練一実技 (その 1)



写真 9 : 海自呉基地（吉浦）での合同訓練—実技（その 2）



写真 10 : 海自呉基地（吉浦）での合同訓練—実技（その 3）



写真 11 : 海自呉基地（吉浦）での合同訓練—実技（その 4）



写真 12 : 海自呉基地（吉浦）での合同訓練—実技（その 5）



写真 13 : 海自呉基地 (吉浦) での合同訓練—実技 (その 6)



写真 14 : 海自呉基地 (吉浦) での合同訓練—実技 (その 7)



写真 15 : 海自呉基地 (吉浦) での合同訓練・実技 (その 8)



写真 16 : 海自呉基地 (吉浦) での合同訓練—訓練終了式



写真 17 : 海自呉基地 (吉浦) での合同訓練—集合写真